

平成30年11月末現在のうそ電話詐欺被害状況(暫定値)

1 認知件数及び被害金額

認知件数は50件(前年同期比-46件)、被害額は約1億5,150万円(前年同期比-約5,560万円)である。

う そ 電 話 詐 欺		平成30年11月末		前年同期比		平成29年中	
		件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
振り 込め 詐欺	オレオレ詐欺	7件	約 2,470 万円	- 1件	+ 約1,260 万円	9件	約 1,310 万円
	架空請求詐欺	33件	約 6,330 万円	- 30件	- 約8,110 万円	64件	約1億4,460 万円
	融資保証金詐欺	3件	約 160 万円	- 8件	- 約1,610 万円	11件	約 1,760 万円
	還付金等詐欺	1件	約 50 万円	- 5件	- 約450 万円	7件	約 550 万円
	小計	44件	約 9,010 万円	- 44件	- 約8,910 万円	91件	約1億8,080 万円
振り 込め 以外 の 特殊 詐欺	金融商品等取引名目	3件	約 4,320 万円	- 4件	+ 約2,250 万円	7件	約 2,070 万円
	ギャンブル必勝法情報提供名目	1件	約 790 万円	± 0件	+ 約70 万円	1件	約 720 万円
	異性との交際あっせん名目	2件	約 1,030 万円	+ 2件	+ 約1,030 万円	0件	約 0 円
	その他	0件	約 0 円	± 0件	± 0 円	1件	約 300 万円
	小計	6件	約 6,140 万円	- 2件	+ 約3,350 万円	9件	約 3,090 万円
合計		50件	約1億5,150 万円	- 46件	- 約5,560 万円	100件	約2億1,170 万円

※ 被害金額は、四捨五入しているため、それぞれの額と合計が一致しない場合がある。

※ オレオレ詐欺のうち2件、架空請求詐欺のうち3件は、キャッシュカード手渡し後の現金引き出し被害である。

※ 融資保証金詐欺は、自己名義のキャッシュカードを送付したものである。

【参考:過去の被害状況】

う そ 電 話 詐 欺		平成28年中		平成27年中		平成26年中	
		件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
振り 込め 詐欺	オレオレ詐欺	1件	約 700 万円	11件	約 5,690 万円	1件	約 250 万円
	架空請求詐欺	27件	約 1億4,610 万円	26件	約 1億3,820 万円	17件	約 1億2,530 万円
	融資保証金詐欺	2件	約 250 万円	2件	約 100 万円	3件	約 230 万円
	還付金等詐欺	1件	約 50 万円	9件	約 470 万円	0件	約 0 円
	小計	31件	約 1億5,610 万円	48件	約 2億80 万円	21件	約 1億3,010 万円
振り 込め 以外 の 特殊 詐欺	金融商品等取引名目	9件	約 3,870 万円	11件	約 1億6,050 万円	12件	約 5,000 万円
	ギャンブル必勝法情報提供名目	2件	約 1,680 万円	1件	約 500 万円	3件	約 4,970 万円
	異性との交際あっせん名目	0件	約 0 円	0件	約 0 円	0件	約 0 万円
	その他	1件	約 500 万円	4件	約 1,070 万円	9件	約 3,770 万円
	小計	12件	約 6,050 万円	16件	約 1億7,620 万円	24件	約 1億3,740 万円
合計		43件	約 2億1,660 万円	64件	約 3億7,700 万円	45件	約 2億6,750 万円

※ 被害金額は、キャッシュカード手渡し後の現金引き出し被害を含む。

2 手口の概要

手口別は、振り込め詐欺が44件(88%)、振り込め詐欺以外の特殊詐欺が6件(12%)である。

○ オレオレ詐欺 7件

- ・ 息子など親族になりすまし、会社の資金補てん名目など(4件)
- ・ 警察官、金融庁職員などになりすまし、預金保護・被害防止名目など(3件)

○ 架空請求詐欺 33件

- ・ 有料サイト利用料金等の支払名目など(26件)
- ・ 流出個人情報削除騙りトラブル解決費用名目(1件)
- ・ 訴訟告知葉書に係る手続停止名目(3件)
- ・ 投資商品購入費用名目(書類なし)(1件)
- ・ 災害復興支援の手続番号漏えいを口実にしたトラブル解決費用名目(1件)
- ・ 競馬必勝法情報購入代金名目(書類なし)(1件)

○ 融資保証金詐欺 3件

- ・ 融資金振込不可と偽り入金用キャッシュカード送付指示
- ・ 事務手数料、融資保証金等名目(2件)

○ 還付金等詐欺 1件

- ・ 市役所職員等になりすまし、過払い保険料の返金名目

○ 金融商品等取引名目 3件(書類あり)

- ・ 社債購入名目
- ・ 過去の被害回復や施設入所権譲渡を口実にした社債購入名目(2件)

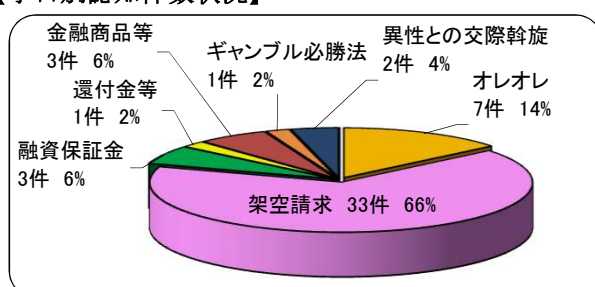
○ ギャンブル必勝法情報提供名目 1件

- ・ 競馬必勝法・ロト6当選番号情報提供名目

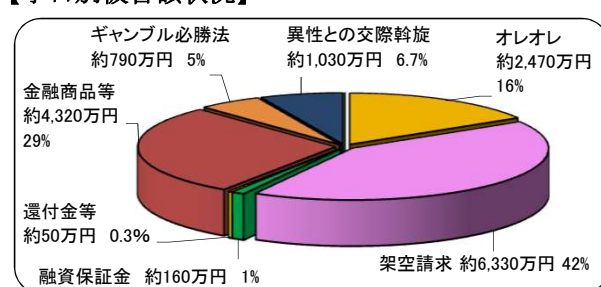
○ 異性との交際あっせん名目 2件

- ・ 異性交際で報酬を得られると勧誘後、保証金名目(2件)

【手口別認知件数状況】



【手口別被害額状況】



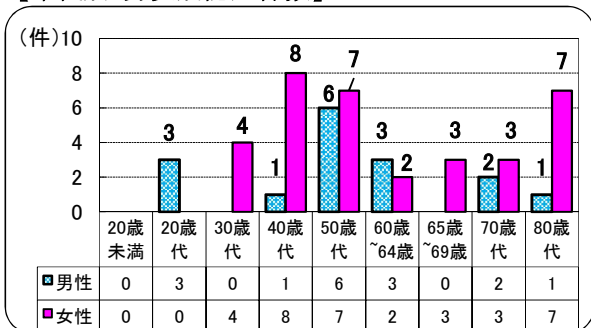
3 被害状況

(1) 年代別・男女別の認知件数

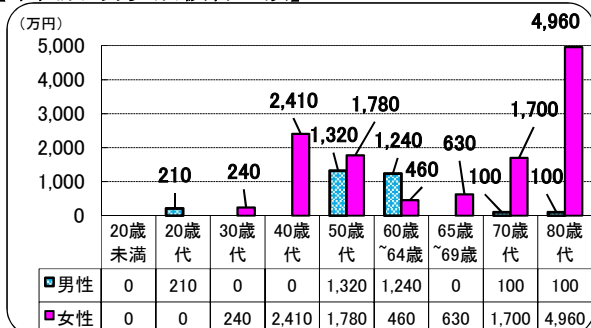
ア 年代別	○ 65歳以上	16件(32%)	○ 65歳未満	34件(68%)
イ 男女別	○ 男性	16件(32%)	○ 女性	34件(68%)

(2) 年代別・男女別の被害金額				
ア 年代別	○ 65歳以上	約7,490万円(約49%)	○ 65歳未満	約7,660万円(約51%)
イ 被害金額	○ 男性	約2,970万円(約20%)	○ 女性	約1億2,180万円(約80%)

【年代別・男女別認知件数】



【年代別・男女別被害金額】



【参考:過去の年代別被害状況】

※ 比率は、各年の総数に対する割合である。

	65歳以上		65歳未満	
平成29年中	42件約42%	約1億4,130万円約67%	58件約58%	約7,040万円約33%
平成28年中	22件約51%	約1億7,490万円約81%	21件約49%	約4,170万円約19%
平成27年中	52件約81%	約3億5,230万円約93%	12件約19%	約2,470万円約7%
平成26年中	35件約78%	約1億8,250万円約68%	10件約22%	約8,500万円約32%

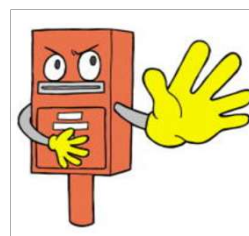
【参考:過去の男女別被害状況】

※ 比率は、各年の総数に対する割合である。

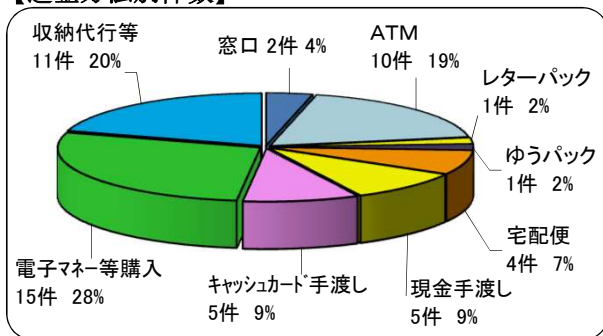
	男性		女性	
平成29年中	38件約38%	約5,840万円約28%	62件約62%	約1億5,330万円約72%
平成28年中	15件約35%	約6,320万円約29%	28件約65%	約1億5,340万円約71%
平成27年中	14件約22%	約5,830万円約15%	50件約78%	約3億1,870万円約85%
平成26年中	7件約16%	約2,370万円約9%	38件約84%	約2億4,380万円約91%

4 送金方法等 (一人の被害者が、2種類以上の送金方法等を利用した場合はそれぞれを計上している。)

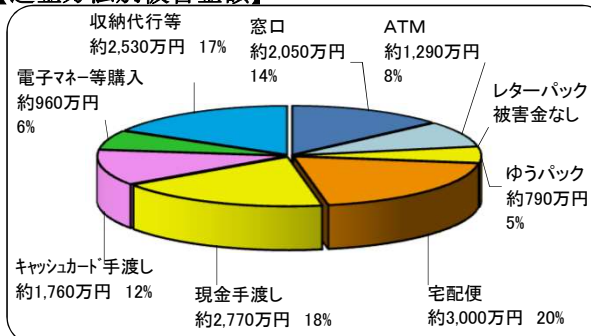
送金方法等	件数	被害金額
振込型(窓口・ATM・ネットバンク等)	12件約22%	約3,340万円約22%
送付型(宅配便・レターパック等)	6件約11%	約3,790万円約25%
現金手渡し型	5件約9%	約2,770万円約18%
キャッシュカード手渡し型	5件約9%	約1,760万円約12%
電子マネー型	15件約28%	約960万円約6%
収納代行型	11件約21%	約2,530万円約17%
合計	54件100%	約1億5,150万円100%



【送金方法別件数】



【送金方法別被害金額】



【参考:過去の送金方法別件数・被害金額】

送金方法等	平成29年中		平成28年中		平成27年中	
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
振込型(窓口・ATM・ネットバンク等)	33件	約4,860万円	20件	約4,060万円	28件	約3,830万円
送付型(宅配便・レターパック等)	8件	約7,040万円	20件	約1億6,530万円	26件	約2億1,430万円
現金手渡し型	8件	約4,960万円	1件	約700万円	11件	約1億1,590万円
キャッシュカード手渡し型	7件	約380万円	0件	0円	2件	約800万円
電子マネー型	42件	約2,740万円	10件	約370万円	3件	約50万円
収納代行型(H29から統計開始)	9件	約1,190万円	統計なし		統計なし	
合計	107件	約2億1,170万円	51件	約2億1,660万円	70件	約3億7,700万円

※ 一人の被害者が、2種類以上の送金方法等を利用した場合はそれぞれを計上している。